

平成 26 年度八戸市復興計画推進市民委員会意見への対応状況 (平成 27 年 4 月末現在)

3. 都市基盤の再建

市では平成 26 年度に八戸市復興計画推進市民委員会を 4 回開催し、委員の皆様から御意見をいただきました。

本資料は、「3. 都市基盤の再建」への御意見に対する平成 27 年 4 月末現在の市の対応状況についてとりまとめたものです。

なお、対応状況は、下記区分のとおりです。

【対応状況の区分】

- = 意見をふまえ対応に努めている
- = 意見を参考に検討段階
- × = 意見への対応が難しい

復興計画全体に関する総括意見

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
1		<p>「都市基盤の再建」については、津波災害に強い市街地の整備を進めるため、現在計画されている八戸港における防潮堤等の整備、及び市内沿岸部における津波避難路・津波避難タワー等の整備事業を着実に推進すること。</p> <p>八戸港における津波対策事業の推進について [港湾河川課] 意見 3 で回答</p> <p>津波避難道路の整備推進について [道路建設課] 平成 25 年度から測量・設計を始め、用地買収・補償・工事を進めております。平成 28 年度に全事業完了予定となっております。</p> <p>津波避難タワー等の整備推進について [防災危機管理課] ・多賀地区津波避難タワー整備事業 多賀地区復興まちづくり計画に基づき、津波避難タワーを整備することとし、これまで用地買収、地質調査、基本実施設計、土地造成工事を完了しました。平成 27 年 3 月には新築工事請負契約を締結し、平成 27 年 8 月完成予定です。 ・沼館地区津波避難ビル整備事業 津波避難施設整備計画において、同地区の避難困難地域内人口に対して避難施設が不足することから津波避難施設を整備することとし、これまでに地質調査を完了した他、現在基本実施設計を進めております。 [スポーツ振興課] 多賀地区北部については、(仮称)多賀地区多目的運動場整備事業の中で、管理棟の 4 階部分に津波避難施設を整備する予定です。</p>	<p>[港湾河川課] [道路建設課] [防災危機管理課] [スポーツ振興課]</p>

3 「都市基盤の再建」に関する意見

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
2		市街地の整備については、大規模建築物や木造住宅の耐震化を促進するとともに、倒壊の恐れのある空き家の実態把握と対策の実施、東北縦貫自動車道八戸線への(仮称)八戸第2ジャンクションの設置に向けた関係機関への働きかけ、都市計画道路3・3・8号白銀市川環状線の整備など、広域的な幹線道路ネットワークの構築を進めていく必要がある。	[建築指導課] [道路建設課]
		<p>大規模建築物や木造住宅の耐震化促進について</p> <p>[建築指導課]</p> <p>現在、市内の建築物の耐震化向上を図るため、(通称)耐震改修法、青森県耐震改修促進計画、八戸市耐震改修促進計画に則り、下記支援事業を実施しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模建築物等への耐震診断費用に対する補助 (国:1/3 県:1/6 市:1/6 上限有) 対象:(通称)耐震改修法により診断が義務化された不特定多数の者が利用する一定規模以上の建築物等 ・木造住宅への耐震診断費用に対する支援 国からの交付金、県補助金を活用、市からも県と同額を支援し、木造住宅の耐震診断を実施 ・木造住宅への耐震改修費用に対する補助 (限度90万円 国・県・市:1/3毎) 対象:上記耐震診断により耐震性が乏しいと判定された木造住宅 	
		<p>空き家対策事業の推進について</p> <p>[建築指導課]</p> <p>「八戸市空き家等の管理適正に関する条例」は、主に老朽化し危険な状態となった空き家を対象に事故等の発生を未然に防ぐため適正な指導を行っていくものであります。この目的を効果的に達成するためには、当該空き家の件数や場所等の把握は必要と認識しているため、平成27年度から可能な範囲で各町内会からの情報提供を受ける形での実態調査を検討したいと考えております。なお、現段階で実施時期は未定です。(但し、危険等の無い利活用を視野に入れた空き家の把握は非対応)</p>	
		<p>(仮称)八戸第2ジャンクションの設置について</p> <p>[道路建設課]</p> <p>意見 7で回答</p>	
	<p>都市計画道路3・3・8号白銀市川環状線等の広域的幹線道路ネットワークの整備促進について</p> <p>[道路建設課]</p> <p>意見 8で回答</p>		

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
3	<p>港湾の整備については、地域経済を支える八戸港の国際物流拠点港としての更なる飛躍を目指し、港湾利用促進策の拡充を検討するとともに、八戸港の防災機能の強化を図るため、「八戸港復旧・復興方針」に掲げる防潮堤の整備や緑地帯の嵩上げ、漂流物防護柵の設置など、津波対策事業を着実に推進することが重要である。</p>		<p>[産業振興課] [港湾河川課]</p>
	<p>八戸港の国際物流拠点港に向けた更なる港湾利用促進策の検討について [産業振興課] 継続的に海外・首都圏においてポートセールスを行い、航路の拡充、利用促進のPRをしているほか、平成26年度から八戸港国際物流拠点化推進協議会による荷主向け補助制度を拡充しております。さらに、八戸港の今後の活用促進に向けたマーケティング調査を実施し、八戸港の利活用促進に向け取り組んでいます。</p> <p>八戸港における津波対策事業の推進について [港湾河川課] 県事業で以下のとおり整備を実施しております。 平成26年度 ・八太郎4号埠頭、河原木2号埠頭背後 防潮堤工事 ・八太郎緩衝避難緑地嵩上げの測量、地質調査、設計 ・八太郎2号埠頭 電源棟防災対策 設計 平成27年度 ・八太郎4号埠頭 防潮堤工事 ・八太郎1号埠頭～3号埠頭 緑地の嵩上げ+防潮堤工事 ・八太郎1号埠頭 ふ頭の嵩上げ工事 ・北沼港湾運動公園 防潮堤工事 ・八太郎2号埠頭 電源棟防災対策工事 ・河原木さん橋護岸 漂流物防護柵工事</p>		
4	<p>道路整備については、橋梁の安全な通行を確保するため計画的な保全工事を行うとともに、都市内幹線道路であり、かつ防災上重要な路線である新大橋については、調査・設計の結果を踏まえて、速やかに対策を講じる必要がある。</p>		<p>[道路維持課] [道路建設課]</p>
	<p>橋梁の安全な通行を確保するための計画的な保全対策措置の推進について [道路維持課] 意見 12 で回答 新大橋整備事業の推進について [道路建設課] 意見 13 で回答</p>		
5	<p>公共交通の維持・確保については、利用者の視点に立った施策の推進を期待する。</p>		<p>[都市政策課]</p>
	<p>意見 16 で回答</p>		

個別の施策・事業に対する意見

3 「都市基盤の再建」

(1) 市街地の整備

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
6		安全で安心なまちづくりを実現するため、市内で倒壊の恐れのある空き家の状況や戸数等を速やかに調査し、実態を把握した上で、必要な対策を講じる必要がある。 意見 2 で回答	[建築指導課]
7		八戸・久慈自動車道は、三陸沿岸地域の復興加速化にとって重要な道路であることから、八戸インターチェンジからの乗り入れが可能となるよう、(仮称)八戸第2ジャンクションの設置を国に働きかける必要がある。 八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会(会長:八戸市長)として、会員市町村とともに、平成24年度より、青森県、国、県選出国會議員等への要望活動を行っています。	[道路建設課]
8		都市計画道路 3・3・8 号白銀市川環状線は、八戸港、八戸駅、高速道路インターチェンジなどの主要交通拠点を連絡し、物流の効率化等に資する主要幹線道路であることから、早期全線開通に向けて整備を促進していく必要がある。 毎年、青森県に対して重点事業として要望しており、平成27年度は下記2工区で青森県が事業を進めています。 ・天久岱工区・・・用地買収、道路改良工事 ・尻内工区・・・用地測量、用地買収	[道路建設課]

(2) 港湾の整備

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
9		青森県が進めている八戸港への防潮堤建設事業のうち、現段階で未定である蕪島地区などの漁港区域における整備計画の検討に当たっては、景観への影響等について市民からの十分な意見聴取が必要である。 【港湾河川課】 県は、平成25年5月に「八戸地区港湾漁港津波高潮対策事業(防護ライン)」について、企業等港湾利用者との意見交換会や住民説明会を実施しました。 意見交換会、住民説明会で寄せられた意見を踏まえ、「八戸港復興会議」において、復興期間内に以下の整備を行うこととし、蕪島地区など、それ以外の区域の整備については、見合わせることとなりました。 ・八太郎4号埠頭後背地への浸水対策(防潮堤整備) ・八太郎1号埠頭～3号埠頭後背地への浸水対策(防潮堤整備)及び重機・車両の避難場所の確保 ・河原木2号埠頭後背地への浸水対策(防潮堤整備) ・石油・ガスタンク等への漂流物防止柵 【水産事務所】 住民説明会を開催し、住民から漁港区域については不要と意見があったため、県では防潮堤を設置しないこととなりました。	[港湾河川課] [水産事務所]

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
10		<p>北東アジアやロシアへのゲートウェイとしてのグローバル物流拠点化に向けて、八戸港の多様な産業の集積を活かし、地域物流機能の強化を着実に推進していくことが必要である。</p> <p>【産業振興課】 県が策定した「青森県ロジスティクス戦略」において、八戸港はコンテナ貨物の重要な拠点港湾として位置づけられていることから、航路の拡充、港湾サービスの充実、県産品の海外販路拡大など、県及び八戸港国際物流拠点化推進協議会と連携をとり、コンテナ取扱量増加につなげ、更なる八戸港の振興に向けて取り組んでまいります。</p> <p>【港湾河川課】 国、県で以下のとおり港湾整備を実施しております。 平成 26・27 年度 ・中央第1防波堤、中央第2防波堤整備(国) ・航路・泊地整備(国) ・河原木地区沼館緑地整備(県) ・市川船だまり防砂堤整備(県) ・八太郎2号埠頭受変電棟津波対策(県) また、八戸港の整備促進については、国、県に対して毎年要望を実施しており、今後も引き続き、要望活動を行います。</p>	<p>[産業振興課] [港湾河川課]</p>
	11		<p>八戸港の利用促進が進むよう、造船業関連分野等も含め、多様な業種の立地促進策を推進する必要がある。</p> <p>造船業は当市の特徴的な産業であり、この他様々な産業がバランス良く立地する当市の産業構造や「多様性」も当市の強みであるため、今後とも産業の変遷や将来性を勘案しながら、当市のアピールポイントである八戸港を生かした企業誘致に努めてまいります。</p>

(4) 道路・公園・下水道等の整備

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
12		<p>市内道路に架かる橋梁の安全性を確保するため、現状を把握し、計画的な保全対策措置を講じる必要がある。</p> <p>平成 20 年度より橋梁の定期点検を実施しており、その点検結果に基づいて平成 23 年 4 月に「八戸市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、平成 25 年度より計画的な修繕を実施しています。</p>	[道路維持課]
	13		<p>新大橋は、車道及び歩道が狭く、渋滞時には緊急車両の円滑な通行に支障をきたすことから、調査・設計の結果を踏まえ、速やかに対策を講じる必要がある。</p> <p>平成 27 年度は、詳細設計業務委託を実施予定です。また、長期にわたり安定かつ安全に供用できる新橋の架け替えに向けて、関係機関との協議等を進めます。</p>
14		<p>子育て関連施設の複合化と多機能化は、人口減少などの諸課題を抱える現代社会において有効な取組であることから、引き続き、推進していく必要がある。</p>	[こども未来課]
	×	<p>本事業は、被災地の復興のため、単年度に限定して実施したものです。 子育て関連施設の複合化と多機能化は推進していくべき施策と認識しておりますが、耐用年数を経過した保育施設が複数あることから、今後も既存の保育施設の整備を優先して進めてまいりたいと考えています。</p>	

(5) 公共交通の維持・確保

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
15	市営バスの更なる利用促進を図るため、乗り換え促進制度の導入を検討するなど、市民目線の柔軟な発想で施策を立案していく必要がある。		[都市政策課] [運輸管理課]
		<p>【都市政策課】</p> <p>市民アンケートも実施して平成 26 年 3 月にまとめた「第 2 次八戸市地域公共交通総合連携計画」に基づき、市営バスだけでなく、路線バス全体の利用促進を図るため、利用者目線での事業を展開中です。</p>	
		<p>【運輸管理課】</p> <p>スムーズな運賃支払い、並びに乗継の利便性向上を図るため、ICカード等の乗車カードの調査研究をしております。</p>	
16	公共交通政策の立案に当たっては、利用者の立場に立った計画の策定が必要であり、特に、公共交通の利用者の多くは高齢者であることから、高齢者目線での対応が必要である。		[都市政策課]
		<p>市民アンケートも実施し平成 26 年 3 月にまとめた「第 2 次八戸市地域公共交通総合連携計画」は、利用者の視点を重視し策定しています。また、意見が多かった「低床バスの導入」は事業者が実現に向け努力しているところです。今後も、高齢者対応も含め、事業者等と連携しその実現に取り組んでまいります。</p>	